

平成27年【第1回】 「いわて復興ウォッチャー調査」結果報告

1 目的

東日本大震災津波からの復興状況を定期的に把握するため、被災地域において復興の動きを観察できる立場にある方々の協力を得て、復興感に関する調査を実施する。

2 調査の概要

(1) 調査対象

岩手県の沿岸12市町村に居住又は就労している方 153名

※原則として、毎回同じ方を対象に調査を実施

(2) 調査方法

郵送法(郵送による発送、返信用封筒による返送)

(3) 調査対象時期

平成27年2月(次回調査は平成27年8月予定)

(4) 調査項目

問1 被災者の生活の回復に対する実感 (生活の回復度、直近3ヶ月間の進捗状況)

問2 地域経済の回復に対する実感 (地域経済の回復度、直近3ヶ月間の進捗状況)

問3 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

(災害に強い安全なまちづくりの達成度、直近3ヶ月間の進捗状況)

(5) 回収結果

有効回収率 90.2%(138名/153名) <前回 83.0%(平成26年11月調査)>

(6) 回答者の属性

①性別

性別	人数	割合
男性	94	68.1%
女性	44	31.9%
不明	0	0.0%

②地域別

地域	人数	割合
沿岸北部	44	31.9%
沿岸南部	94	68.1%
不明	0	0.0%

③年齢別

年齢別	人数	割合
39歳以下	23	16.7%
40歳台	33	23.9%
50歳台	51	37.0%
60歳以上	31	22.5%
不明	0	0.0%

④住宅被害の有無

被災有無別	人数	割合
被災あり	78	56.5%
被災なし	57	41.3%
不明	3	2.2%

⑤ 職業・所属等

- ・ 地域団体・郵便局関連(応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など) 54名(39.1%)
- ・ 教育・福祉施設関連(小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など) 39名(28.3%)
- ・ 産業・経済・雇用関連(漁業・農業従事者/就業支援員等雇用支援機関の関係者/金融機関の関係者など) 45名(32.6%)

■参考■

○「回復度」「達成度」とは、発災以降における全体の回復状況についてお尋ねしています。

「進捗状況」とは、直近3ヶ月の進み具合についてお尋ねしています。

○沿岸北部とは、洋野町・久慈市・野田村・普代村・田野畑村・岩泉町の6市町村、

沿岸南部とは、宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市の6市町です。

※ 調査結果の集計・分析にあたっては、岩手県立大学総合政策学部の協力を得て行っています。

※ 掲載する割合(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

3 調査結果の概要(1) 被災者の生活の回復に対する実感

○被災者の生活の回復度については、「回復した」「やや回復した」の合計が65.9%と前回（52.3%）を13.6ポイント上回り、「あまり回復していない」「回復していない」の合計は10.1%と前回（14.3%）を4.2ポイント下回った。

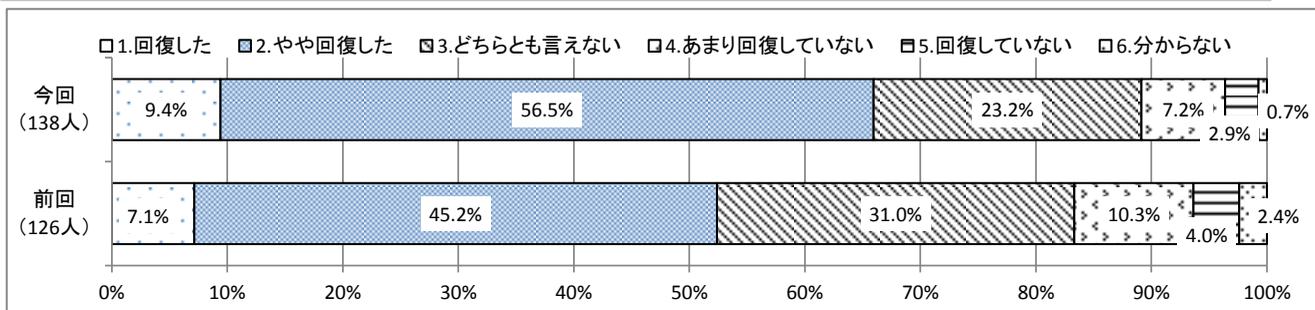
○地域別では、沿岸北部・沿岸南部ともに「やや回復した」の割合が最も高かった（沿岸北部63.6%、沿岸南部53.2%）。「回復した」「やや回復した」の合計は、沿岸北部で81.8%と前回（70.0%）を11.8ポイント上回り、沿岸南部では58.5%と前回（44.2%）を14.3ポイント上回った。

○直近3ヶ月の進捗状況を見ると、「進んでいる」「やや進んでいる」の合計が55.2%と前回（48.4%）を6.8ポイント上回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は11.1%と前回（16.7%）を5.6ポイント下回った。

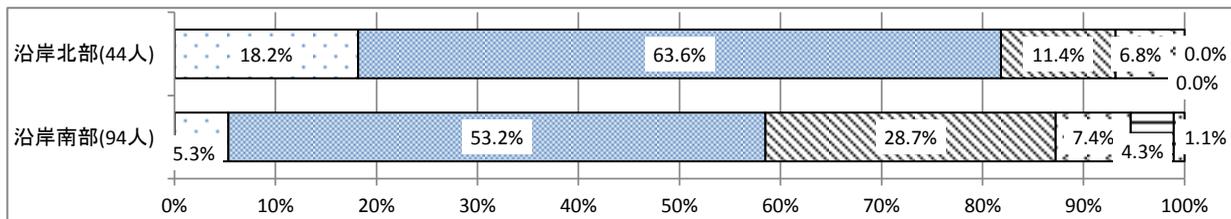
仮設住宅を出て災害公営住宅に移った人が多いという声がある一方、仮設住宅に住む高齢者の

① 被災者の生活の回復度（震災以降における全体の回復状況）

【設問】あなたの周囲をご覧になって、被災者の生活は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

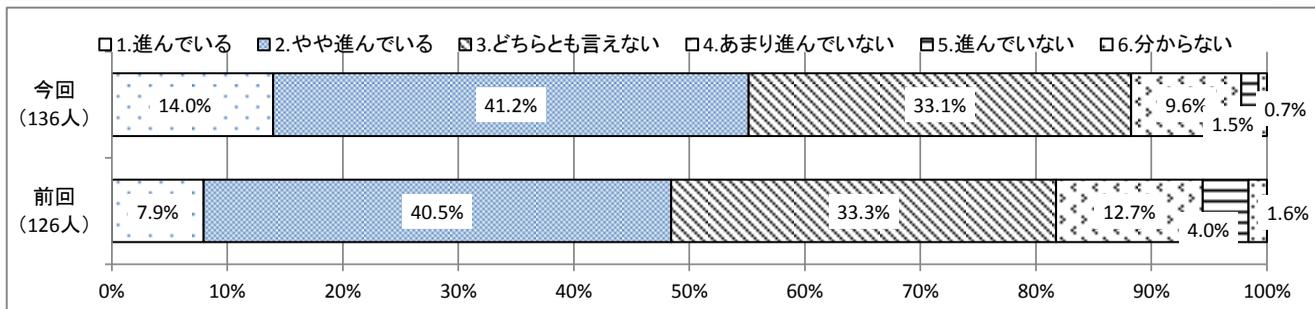


地域別

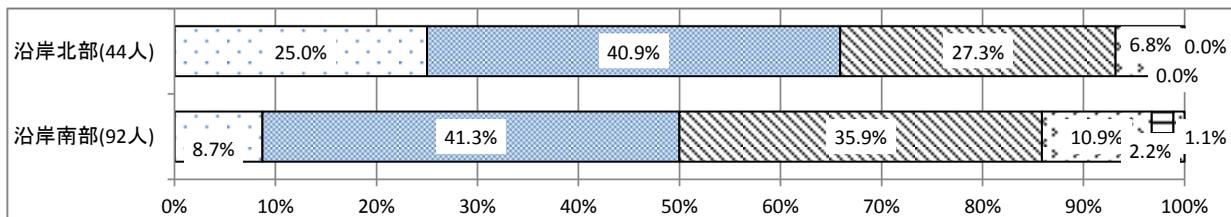


② 直近3ヶ月間（概ね12月から2月まで）の進捗状況

【設問】あなたの周囲をご覧になって、最近の（3ヶ月間程度）被災者の生活の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？



地域別



* () 内は回答者数を示す

③ 回復度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

区分	理由(要旨)
<p>「1.回復した」 又は 「1.進んでいる」 の理由</p>	<p>◆日常生活は以前と変わらぬ生活ができています。市役所の方には、3年以上がたってもていねいに対応していただき感謝しています。(40歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p> <p>◆前回の時は高台の区画整理をしている段階だったが、区画も決まり、抽選でこの土地になるのかも決まった。なんとなくそれが決まっただけで、やっとここまで来たのかと嬉しくなった。(39歳以下、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p>
<p>「2.やや回復した」 又は 「2.やや進んでいる」 の理由</p>	<p>◆一人一人又一人と仮設を出て土地を買い中古の家を買い被災から一歩でも前に出、やや回復・生活しております。復興公営住宅に入居の方も希望をもってカーテン地、ガスレンジ…等笑顔で買い物に夢をもってます。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆正月前に仮設住宅を退去した方も多く見られ、住宅地の空き地には次々と新築されている。けれどスーパー等に行くと客数が以前に比べ少ないと感じる。日中働きに行く人が増えた為か？(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆住宅を再建している人や、再建の目途が立ったりして、進んでいる。そのため仮設住宅の空きが目立ち、今後の活用方法に融通が効けばいいと思う。(39歳以下、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、男性)</p> <p>◆仮設住宅から恒久住宅(復興住宅)入居のメドが立ったことが被災者に安心を呼んでいる。家賃等の問題で仮設のままでよいという被災者もいると聞くが、行政と十分な話し合いをして被災者も前向きに歩んでほしい。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆様々な団体の支援で、サークル活動等に参加している人もいる。あとは鉄道が回復すれば車を持たない人達の生活が豊かになる。しかし、将来への不安や働こうとする意欲の低下なのか、大人に元気がない。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆自宅再建する人が増え、新しい家があちこちに建ってきた。仕事も震災前と同じようにしている人も増えている。高台移転の土地も整備され、新しい地区の名前も決まった。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p> <p>◆村営住宅や自宅を新築して引っ越し、落ち着いて生活されている方が増えました。年末辺りにほとんどの方が引っ越しできて新しい場所で新年を迎えられたようです。(40歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p> <p>◆災害公営住宅、高台移転共に少しずつ完成して、仮設から出られる方も増えてきている。その一方で仮設の撤去の期限が決まり、移転先が決まらない方、撤去までに転出できない方などの問題が出てきている。(50歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p>
<p>「3.どちらとも言えない」 の理由</p>	<p>◆高台の造成工事は進み、4月頃には完成するとの話です。しかし二線堤の工事が完成しないと、上下水道等のライフラインがなく住宅再建出来ず、また資材が高騰しており、不安である。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆盛土の完成や復興住宅は未だ進んでいないが、家を建てて新しい生活を始めている人もいるのが現実だ。しかし、仮設に取り残されている人は高齢者が多くなり、支援は縮小しているのかひっそりとして来ている。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆かさ上げ後の土地に家を再建する人は少なく、歯抜けのような街並みになるような気がします。(40歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆仮設から復興住宅へ移った方が隣の人の(復興住宅入居者同士)関係に悩むとの話を聞くことがあります。復興住宅は、高齢者の方が多く、心のケアもぜひお願いしたいです。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸北部、男性)</p>
<p>「4.あまり回復していない」 又は 「4.あまり進んでいない」 の理由</p>	<p>◆公営住宅ができたが、大多数の被災者がまだ仮設での生活のままである。高台の工期が更に延びるとも聞こえてくる。雇用も土木・建設業がほとんどで今後10年～20年のことを考えると不安である。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p>

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連: 応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など
 教育・福祉施設関連 : 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など
 産業・経済・雇用関連: 漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

3 調査結果の概要(2) 地域経済の回復に対する実感

○地域経済の回復度については、「回復した」「やや回復した」の合計が53.6%と前回（52.0%）と前回を1.6ポイント上回り、「あまり回復していない」「回復していない」の合計は13.1%と前回（14.2%）を1.1ポイント下回った。

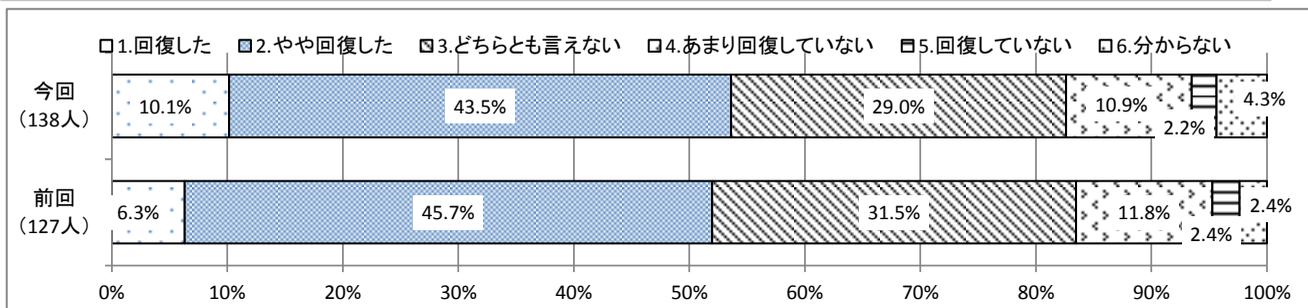
○地域別では、沿岸北部・沿岸南部ともに「やや回復した」の割合が最も高かった（沿岸北部47.7%、沿岸南部41.5%）。「回復した」「やや回復した」の合計は、沿岸北部で63.6%と前回（60.9%）を2.7ポイント上回り、沿岸南部では48.9%と前回（47.6%）を1.3ポイント上回った。

○直近3ヶ月の進捗状況を見ると、「進んだ」「やや進んだ」の合計が40.6%と前回（44.1%）を3.5ポイント下回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は15.2%と前回（18.1%）を2.9ポイント下回った。

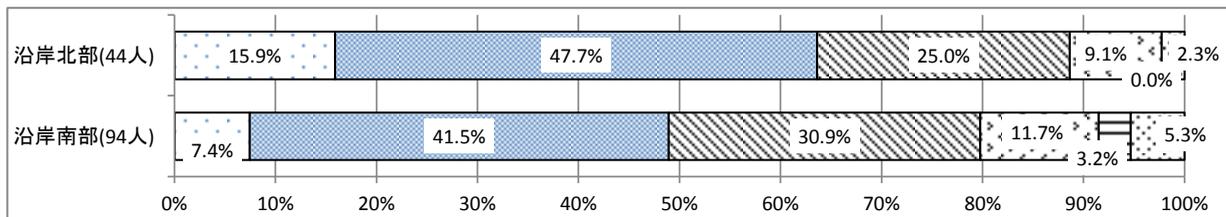
建設業関係の好調、水産加工業の再開を評価する声がある一方、今後の仕事量や人手不足を懸念する声もあった。

① 地域経済の回復度(震災以降における全体の回復状況)

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、地域経済は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

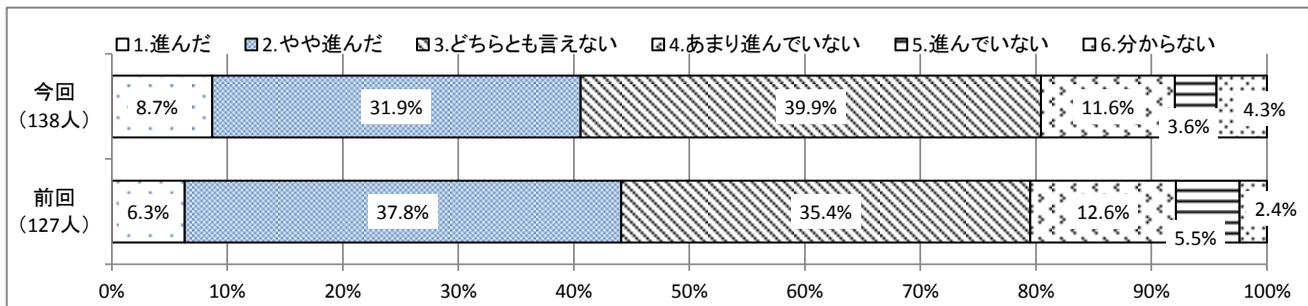


地域別

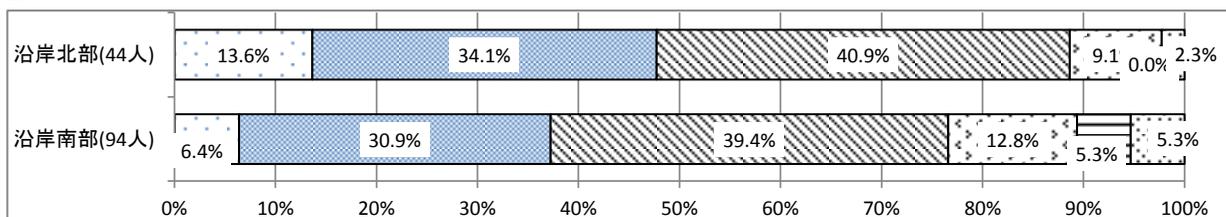


② 直近3ヶ月間(概ね12月から2月まで)の進捗状況

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、最近の(3ヶ月程度)地域経済の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？



地域別



* () 内は回答者数を示す

③ 回復度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

区分	理由(要旨)
「1.回復した」 又は 「1.進んだ」 の理由	<p>◆被災地は建設関係業を中心にバブル状態である。しかし、2～3年後には地元企業の仕事が少なくなり、厳しい経営になると思われる。被災前から、県中部と沿岸部の格差があったが、ますます広がると思う。(50歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆「あまちゃん」効果でまだまだ観光客が訪れており、おみやげ等も売れているようで復興支援につながっていると思います。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸北部、男性)</p>
「2.やや回復した」 又は 「2.やや進んだ」 の理由	<p>◆年末・年始で人も出たのではないかと感じます。求人も出ているので良いはずなのですが、肝心の応募者が来ないという話も聞きますので、進んだと言ってよいのか迷うところです。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆ほ場整備工事が進みました。私の地区では70%位稲作ができます。(27年4月から)(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆漁業(養殖、漁船、定置)は復旧し、生産量も伸びている。浸水区域にあった農地での農業再開希望者は本当に少ない。福島第一原発事故による放射能汚染で減少した原木シイタケ栽培農家も再開がにぶい状態。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆水産業関係については、1年位前から冷凍調理食品製造業者の再開により、徐々に回復していると思われるが、町全体の回復はまだ時間がかかる気がします。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆飲食店等が新しい店をかまえたり、新店舗をかまえる予定のお知らせがいくつか見られるようになってきた。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆林業に関しては、ベニヤやボード類を材料とする針葉樹の需要が多く、チップ材や椎茸ほだ木等の広葉樹類の伐採作業に人が回らないほど忙しいと聞きました。針葉樹は植林等をしてやらないと山が荒れます。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、男性)</p> <p>◆農業はだいぶ回復してきたように思う。漁業はまだ不安定な部分もあるが、特産品の新たなブランドも立ち上げて頑張っている部分もある。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p>
「3.どちらとも言えない」 の理由	<p>◆復興工事に伴い、町外から多数の工事関係者から地元にお金が落ちていることは間違いないが、それで回復と言えるか。水産加工業はいち早く工場を建て、販路回復に努めた結果、概ね震災前の売上まで戻している。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆家を流され、飲食店も2階まで津波にやられて何もなくなった自分。今は、仮設住宅に入って仮設店舗で商売をしています。店はあと3年仮設でやれそうだがその後の計画はまだたててくれずにいます。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆漁業に関しては、仕事だけは順調になってきたが、再開のために相当無理な借入れをせざるを得なかったため、支払いが始まった人も、これからの人も、今からが本当に大変になってくると思われます。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆漁業関係施設の復旧は進んでいるが、水産業の高齢化が進み、担い手不足が深刻です。水産物の価格の低迷が続く(震災前からではあるが…)漁業者の収入減が原因ではあるのですが。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、男性)</p> <p>◆被災企業で、せっかく自力で店舗を再開したのに経営が思わしくなくて倒産したのを見ると切ない気持ちでいっぱいになる。どうにか助かる方法はなかったのか、昔から知っている人たちなので残念でならない。(50歳代、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p> <p>◆経済的には他地域からの工事関係者が多く来ているので今は潤っている部分もあるかもしれませんが、実際地元の人がどの程度地元で消費しているのか疑問です。(40歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p>
「4.あまり回復していない」 又は 「4.あまり進んでいない」 の理由	<p>◆急速に回復を実感した時期もあったが、この頃停滞したのかあまり感じない。例えば、スーパーや大型店などの客足を見ても以前より少ないように感じる。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、女性)</p> <p>◆一時は補助金等により、工場や事業所の再建など進んだが、建物はできてはいても事業内容はきびしく、なんとかやっている所が多くあるように思われる。内容がないのでお金も借りにくくなっているのが本当のところ。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p>

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連: 応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など

教育・福祉施設関連: 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など

産業・経済・雇用関連: 漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

3 調査結果の概要(3) 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

○安全なまちづくりの達成度については、「達成した」「やや達成した」の合計が30.5%と前回(28.8%)を1.7ポイント上回り、「あまり達成していない」「達成していない」の合計は29.0%と前回(34.4%)を5.4ポイント下回った。

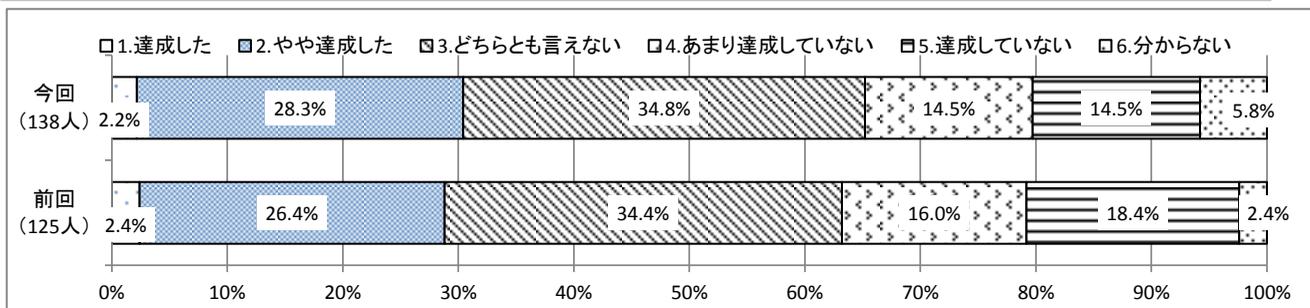
○地域別に見ると、沿岸北部では「やや達成した」が47.7%(前回は46.3%)と最も高く、沿岸南部では「どちらとも言えない」が39.4%(前回は40.5%)が最も高くなっている。

○直近3ヶ月の進捗状況を見ると、「進んでいる」「やや進んでいる」の合計が40.1%と前回(37.9%)を2.2ポイント上回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は23.4%と前回(32.2%)を8.8ポイント下回った。

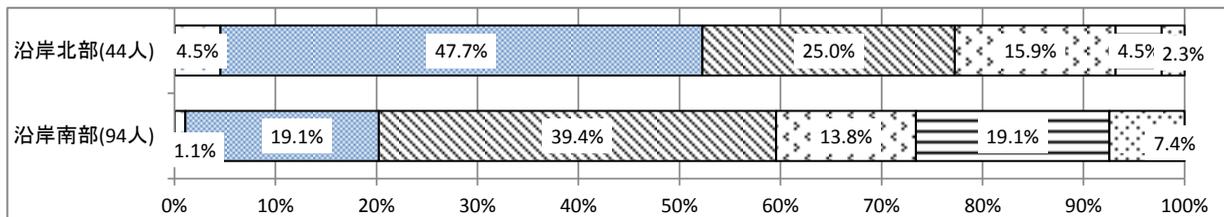
宅地等の嵩上げ工事や防潮堤工事などの進捗を評価する声がある一方、まちづくりが途上であることによる安全面の不安を感じる声もあった。

① 災害に強い安全なまちづくりの達成度(震災以降における全体の達成状況)

【設問】あなたの周囲をご覧になって、災害に強い安全なまちづくりは、被災前と比べてどの程度達成したと感じますか？

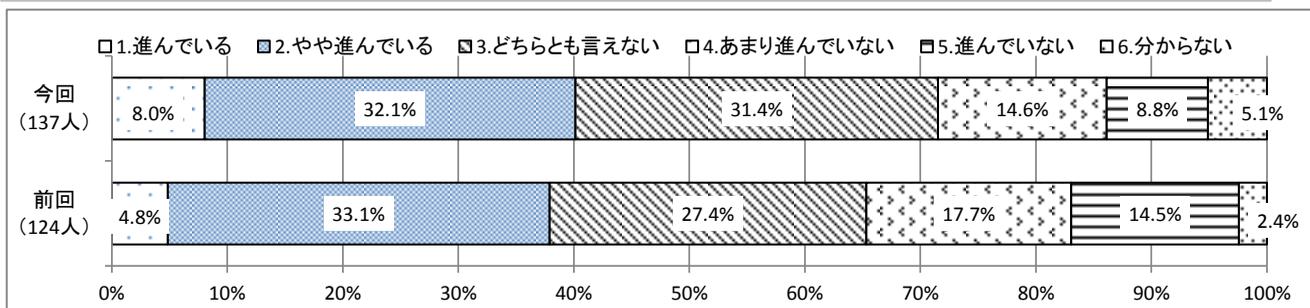


地域別

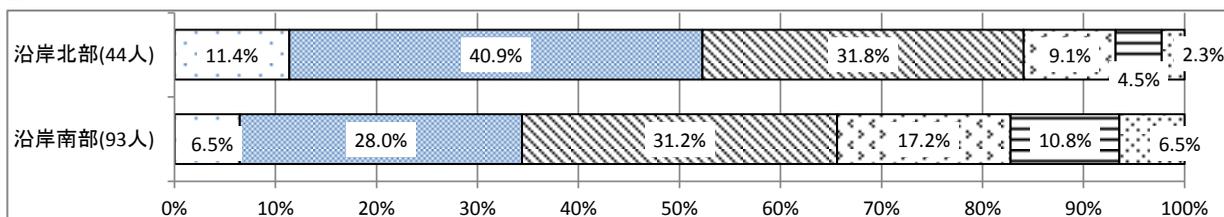


② 直近3ヶ月間(概ね12月から2月まで)の進捗状況

【設問】あなたの周囲をご覧になって、最近の(3ヶ月程度)災害に強い安全なまちづくりの進み具合は、どの程度と感じますか？



地域別



* () 内は回答者数を示す

③ 達成度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

区分	理由(要旨)
「1.達成した」 又は 「1.進んでいる」 の理由	<p>◆防潮堤の工事が着工できるというのをニュースでやっていた。ようやく始まるんだなと思った。(39歳以下、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p>
「2.やや達成した」 又は 「2.やや進んでいる」 の理由	<p>◆土盛りなどの工事は進んでいる。防潮堤の工事も始まるのだろうが、巨額の費用を投下しても住人は減る一方。就業のほうをきちんと考えていかないと住人のいないところに防潮堤だけ残るのではないか。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、男性)</p> <p>◆嵩上げや防潮堤工事は進んでいる。地元住民との調整等の苦労もあるようですが、確実に進んでいます。冬場になり、工事車両の事故も聞かえており、(交通量も増え)安全運転で作業してほしいと思います。(39歳以下、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、男性)</p> <p>◆今の現状での避難訓練が行われるなど、対策は進んでいる。警報等で「予想される津波の高さ」とともに、「標高何mまで避難して下さい」というのもあってもいいかな。(40歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆自宅のうしろ(50m程)の堤防の工事が始まりました。一週間程前から、堤防等をこわしており、けさの地震で津波が20cmでしたけど不安な気持ちになりました。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸北部、男性)</p> <p>◆駅の完成で、その中にある住宅は大分安心して生活できるようになったようです。以前の堤防より強いものができ始め、道路も少し安心して通れるようになりました。(40歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p>
「3.どちらとも言えない」 の理由	<p>◆私達の地域は27年1月現在、町がどの様になるか確実性のある説明がありません。最終的に29年度の完成との事ですが待ち切れないので自立再建致しました。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆商業地域の土盛り工事や、被災地域宅地再建のための嵩上げ工事が進んできた。被災公営住宅復旧工事が始まり、4月から入居が始まるようであるが、肝腎の防潮堤の整備がまったく進んでいない。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆防潮堤工事が行われているが、いつ頃できるのだろう。(通学路になるので早いことが望まれるが…)。鉄道も三鉄移行になるようだが具体的な修復はどうなるのだろう？(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆防潮堤の嵩上げ工事や道路工事は順調に進んでいるように見えるが、一方、住民の防災・減災に対する意識は時間とともに減少してきた感じがする。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p> <p>◆新しく作られている防潮堤を見て、その高さに驚いた。海が全く見えない状況で、地域での防災意識を今後保ち続け、まとめていくことはますます難しくなるのではないかと感じた。(50歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆目に見えない所では進んでいるかもしれないが、住民への情報発信が乏しいように思う。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p>
「4.あまり達成していない」 又は 「4.あまり進んでいない」 の理由	<p>◆進むことは進んでいるが完成にはほど遠い。市内は街の形としては少しづつ回復しているが堤防はまだまだなので安全とは言えない。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆少しづつ防潮堤の整備が進んでいるのは目に見えて分かるが、高くすることが安全であるとは思わないし景観が変わってしまうのは淋しくもある。(40歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p>
「5.達成していない」 又は 「5.進んでいない」 の理由	<p>◆防潮堤、高台移転とも工事は進みつつあるが、完成にはまだまだという感じがする。(50歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆「災害」が津波のみであるならば、全てのインフラを高台に持って行けば良いのですが、高台周辺の従前からのインフラが古いタイプで大雨等で土砂くずれ・土石流にもなりうる。高台造成で新しい地形となったので、流れ方が、随分と変化していくのが心配である。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p>

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連: 応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など
 教育・福祉施設関連 : 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など
 産業・経済・雇用関連: 漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

平成27年【第1回】
「いわて復興ウォッチャー調査」
結果報告

発行

平成27年3月26日

岩手県

復興局 復興推進課

〒020-8570

岩手県盛岡市内丸10-1

電話(019)-629-6945

ホームページ：岩手県震災復興・復興の動き

<http://www.pref.iwate.jp/fukkounougoki/>